

ビジネス概要 (2007年6月1日現在)

事業内容

レジャー事業



〔東京ドームシティ事業〕

東京ドーム、東京ドームシティ アトラクションズ、ラクーア、東京ドームホテルなど東京ドームシティに存在する営業施設で構成されており、東京ドームグループの中核となる事業。

〔リゾート事業〕

熱海後楽園ホテル、札幌後楽園ホテルのホテル事業で構成。

〔その他のレジャー事業〕

松戸競輪場などの競輪場事業や東京ドームシティ外に展開するゲームセンターの運営、スポーツクラブの運営などで構成。

流通事業



バラエティ雑貨小売店「ショップイン」を全国で展開。人生を豊かにしていく新しい生活スタイル提案のリーダーとなる、都会で働く女性とのコラボレートにより、人々の心に訴える、本物で中身のあるスタイルの確立を目指す。

ファイナンス事業



2007年1月期まで卸金融事業、リース事業および各種保険代理店事業で構成していた当「ファイナンス事業」は、卸金融事業からの完全撤退に伴い、2008年1月期から廃止しています。なお、残りのリース事業と各種保険代理店事業は「その他の事業」に移動しています。また、(株)後楽園ファイナンスの全株式および貸付債権を、2006年11月末にローンスターグループへ譲渡しています。

その他の事業

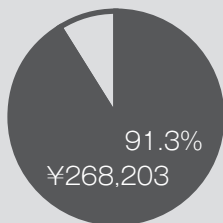
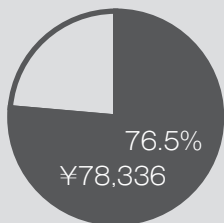


不動産の賃貸・分譲事業、リース事業、ビルメンテナンス事業、立体駐車場などの設計・施工・運営管理事業、生命・損害・医療保険代理店事業、有線テレビジョン放送事業などで構成。

売上高／構成比
(百万円)／(%)

総資産^(注)／構成比
(百万円)／(%)

ハイライト (2007年1月期業績)



プロ野球の巨人戦のほかに、WBC (ワールド・ベースボール・クラシック) アジアラウンド、日米野球の開催やコンサートイベントの収入の伸びが寄与したことで売上は前期を上回る。

開業4年目を迎えたラクーアはスパのリニューアルを行い、新規サウナ設備の導入、エステ、ボディケア店舗などを増設。

東京ドームホテルでは、東京ドームの開催イベントが大きく寄与したほか、インターネット予約による個人利用客の取り込みなどでオープン以来最高の稼働率を上げ、宿泊収入が増収。

札幌地区のホテルは、インターネット予約の強化などで宿泊客数を伸ばした宿泊部門と、宴会、レストラン部門が健闘し、併せて、日本ハム優勝により札幌ドームでの外部店舗が大きく寄与し、ホテル全体で増収。

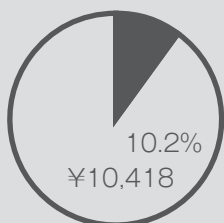
熱海地区のホテルは、タワー館オープン10周年プランの販売、大手旅行会社との積極的な提携などで、宿泊客数は開場以来の新記録を樹立し、売上は前期を上回る。



化粧品を中心に各種雑貨を取り扱う「ショッピング」は、新宿ミロード店を閉店。また、町田店を移設オープンし、品川店ほか4店を改装。



東京ドームグループはリスク事業である金融事業からの撤退を決定。(株)後楽園ファイナンスの全株式および同社に対して当社が保有するすべての貸付債権を、金融事業で実績のあるローンスターグループへ譲渡。これにより、当事業からの撤退を完結。



(株)後楽園総合サービスによる、東京ドームやラクーア、東京ドームホテルなどTDC (東京ドームシティ) 内の受託業務が好調に推移し、売上は前期を上回る。

注: 総資産には、「消去又は全社」の52,197百万円が含まれていません。